

平成26年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	専修大学大学院文学研究科	職名	博士後期課程歴史学専攻	助成金額	42万円
氏名	高橋 則雄	メール アドレス	shouekiandou@gmail.com		

研究課題（申請書に記入した内容を記入すること。）

パリ・コミューン期教育運動における民衆の歴史的位相について

助成金使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）

I. 学術調査の梗概

1870年9月、パリの新市政は、対プロイセン戦争の敗北によって第二帝政が崩壊した結果、臨時国防政府の下で発足した。この市政機関を民衆の立場から監視するために、各区においてなかば公的な組織として設置されたのが、監視委員会である。民衆クラブの多くは、この監視委員会のメンバーが主宰することによってスタートしたが、やがてはそれぞれの地区の事情を反映した自発的な民衆組織へと成長する。本学術調査は、このような過程を経て成立したパリ市政の構造的分析和民衆組織の実態を明らかにすることを目的としている。

なお、本学術調査では、パリ・コミューンにおける教育運動で示された教育理念の歴史的起源について、フランス革命期の公教育検討過程にあると仮定し、パリ・コミューン期およびフランス革命期の教育運動に果たした民衆の役割を分析しつつ、パリ・コミューン期の教育運動にみられる公教育理念、すなわち義務制、無償制、非宗教性が、フランス革命期における公教育制度の検討過程に起源があることを明らかにする史料も併せて、収集する。

このような問題意識のもと、博士論文執筆のための史料および文献収集を目的とした学術調査をおこなった。各主題ごとの具体的な調査内容と結果、調査機関、調査期日については以下の項のとおりである。

(1) 区行政組織の調査と結果

国防省文書館 Centre historique des archives du Service historique de la Défense は、コミューン崩壊後、その参加者たちを裁判にかけるためにヴェルサイユ政府側が押収し、整理した文書を所蔵している。これらは、パリ・コミューンの実態を探るためには、最大かつ最良の史料群といえる。分析の中心となる史料は、軍法会議および議会調査史料 Ly シリーズのカルトンである。Ly シリーズの枝番号 17～27 のカルトンに含まれる史料群は、パリ・コミューンが成立する直前から崩壊までの区行政の実態を裏付ける重要な位置を占める。この実態を把握し、分析をすすめることによって、これまで十分に解明されてこなかった、パリ・コミューン指導層と各区の関係を構造的に明らかにすることができる。Ly20 では、1871年3月から5月にかけての国民衛兵の中央委員会 Comité central の実態を制度面から反映する規約類を閲覧した。これらは、パリ・コミューンの軍事的側面を解明する史料として用いる。Ly26 は、コミューン議会の文書群、月別（3、4、5月）、事務局、commission exécutive などの文書を含んでいる。これらの文書によって、議会が所在するパリ市役所の運営体制を明らかにすることができる。また、第11区の議員 Johannard への通知 notification no. 157 は、コミューンと区行政との関係を示す史料として利用する。Ly27 には、第1区の行政組織 Commission municipale 関係文書と、第14区監視委員会 Comité de Vigilance に関する大量の文書が含まれており、この両区の行政の実態を把握するための史料として利用する。

パリ市文書館 Archives de Paris は、各区における教育運動を記録した文書を収蔵している。これらは、学校単位の公文書として整理されており、教育の実態を把握する上で重要な史料群である。VD3-13 と VD3-14 は、各区の学校ごとの教育実施状況（授業、教員、生徒関係の公文書）が収められている。VD3-13 では、第4区の教員集会（4月13日）の議事録、サンポール教会の接収（4月7日）を記録した日誌、第5区区長 Regère の学校予算横領問題関係文書、第7区の区行政の人事文書などを閲覧した。いずれも区行政に関わる事件、実体を示す極めて重要な史料である。

VD3-14のカルトンでは、第11区における帝政崩壊後の区行政が主体となった教育の世俗化運動(1870年10月)に関する文書を読覧した。VD3-15のカルトンでは、第17区における教員たちの教育改革の要求が記された文書、人事文書、食糧配給カード、国民衛兵給与支払い票などを読覧した。同区の実態を鮮明に映し出す史料群である。この他、パリ・コミューンへと至る第二帝政下における教育制度の実態を示す文書を読覧した。VBIS7R1-3のカルトンでは、第10区の初等教育委員会議事録、第1回(1850年12月)～第68回(1868年11月)を読覧した。VD6-568では、セーヌ-エ-マルヌ県の郡教育委員会 *délegué cantonaux* の文書、no.1(1852-1878), no.2(1857-1859)の二つのファイルを読覧した。VD6 570では、1851-73年の時期のパリ第7区の初等教育学校の視学官の文書、教員給与表等の文書を読覧した。VD6 696では、1835-73年の第5区初等学校状況表、第6区 *Saint Jean de la Salle* 初等学校の学籍簿、第12区初等学校一覧を読覧した。VD6 704では、1856-1874年の第6区における学校設置申請書を読覧した。これらの文書は、いずれもパリ・コミューンへと至る第二帝政期の教育の実態を示す史料群である。

パリ警視庁文書館 *Préfecture de Police* には、警察関係者が入手したコミューン議会の行政文書、民衆組織の活動を内偵した文書等が収蔵されている。これらの文書は、時系列で整理されており、警視庁が4月中に収集した文書では、第5区の公教育の確立について (*Sicard*)、第16区の区議会議事録 *Procès verbaux* (4月1日～15日)、第15区の教育の非宗教化について (*V. Clement*)、第17区における教員たちの活動を示す文書 (*Aux instituteurs ...*) 等を読覧することができた。5月中に警視庁が収集した文書では、コミューン視学官 *Sapia* の任命に関する文書、コミューンが設置した職業学校に関する文書、第6区、7区、15区、17区における教育関係施策についての文書、教育代表委員 *E. Vaillant* 宛ての書簡等、各区(第6区、8区、12区、17区)から教育代表委員 *E. Vaillant* に宛てた書簡、関係文書を読覧した。

セーヌ-エ-マルヌ県文書館 *Archives departementale de Seine-et-Marne* では、M6952のカルトンに収められている、パリの一部の民衆クラブの関係文書を読覧した。

(2)民衆クラブに関する調査とその結果

国防省文書館には、上記で述べたように、各区の監視委員会をはじめとする民衆組織に関する警察の調査報告書、各区の民衆クラブの集会議事録と警察の調査報告書、軍法会議等で使用するための尋問調書等を読覧した。特に、枝番号22番等のカルトンに収められている民衆クラブの議事録、調書等からは、民衆クラブの運営や会員の社会的結合関係などの解明を進めるための手がかりを得られた。カルトン *Ly22* では、プロレテール・クラブ *Club des Proletaires*、女性クラブ *Club des femmes, ambulancieres et petroleuses*、サン-バルナール教会クラブ *Club de l'Eglise St. Bernard*、ニコラ-デ-シャン・クラブ *Club communal de Nicolas des Champs*、第10区共和主義クラブ *Club ou Cercle Republicain des 10e arrondissement*、サン-ルー教会クラブ *Club de l'Eglise St. Leu* など多数の民衆クラブの活動を示す文書を読覧した。

フランス国立図書館フランソワ=ミッテラン館 *Bibliothèque nationale de France, site François Mitterand* では、第3区のニコラ-デ-シャン・クラブの機関紙 *Le Bulletin communal* に掲載された、クラブ連合の動きに関する記事を読覧した。

フランス国立図書館アルスナル館 *Bibliothèque nationale de France, site l'Arsenal* では、第11区のサン-タプロワーズ教会クラブの機関紙 *Le prolétaire* ほか、パリ-リーブル紙 *Paris libre*、ルトリバン-デュ-プープル紙 *Le tribun du peuple* などには、民衆クラブの日々の動向を伝える新聞記事が掲載されており、読覧した。

パリ市歴史図書館 *Bibliothèque historique de la Ville de Paris* の文書ファイル *Ms. 1125* では、第11区のサン-タプロワーズ教会クラブの機関紙 *Le Proletaire* の予約登録簿を読覧し、5月3日と4日の予約者から同紙の購読者層の一部を明らかにすることができた。これより、同クラブの構成員の特徴を分析する手がかりを得た。文書ファイル *Ms. 1142* では、コミューン議員 *Pilotell* の書簡、サン-ルー教会における民衆クラブの活動を記した文書等を読覧した。

セーヌ-エ-マルヌ県文書館では、M6952カルトンに収録された1868年の公共集会法の施行にともなう、社会状況の変化に関する警察報告書を読覧することができた。

(3)パリ・コミューンの公教育の理念におけるフランス革命の影響に関する調査とその結果

フランス革命期のパリにおける民衆組織による教育運動については、パリ市内に当初は選挙集会として設置され、後に自治組織として形成された48のセクション *section* における民衆の動向を中心に調査した。

フランス国立文書館 *Archives nationales* には、これらセクションの活動が記された文書を所蔵しており、以下の関係文書を手に入れた。カルトン261、文書番号573は、民衆地区であるフォブール=サン-タントワヌ・セクションにおける民衆たちの93年憲法の支持と教育の要求を決議した、1793年7月4日の文書である。これは、モンターニュ派

国民公会期の公教育に対する民衆の意識が表明された文書としての意義がある。カルトン 272、文書番号 673 はパンテオン＝フランセ・セクションにおいて、同年 9 月 12 日に決議された文書で、民衆の法意識と教育との関連を示す史料である。と、同時に教育と社会とを関連づけて、成人教育の重要を指摘した史料となっている。カルトン W77、文書番号 195 は、1794 年 3 月 13 日にサン＝キュロット・セクションにおける発言の記録で、民衆の活動が議会に影響力をもつこと、教育制度が未実施であることを述べた文書としての意義がある。

国立図書館フランソワ＝ミッテラン館が所蔵する史料 Lb 40 2131 は、1794 年 2 月 28 日のサン＝キュロット・セクションにおいて公教育を要求することが決議された史料として、閲覧した。

II. 調査実施地および期間

パリおよびパリ近郊、平成 27 年 2 月 22 日～3 月 23 日

・パリ

国立文書館 <http://www.archivesnationales.culture.gouv.fr/>

国防省文書館 <http://www.servicehistorique.sga.defense.gouv.fr/>

パリ警視庁文書館 <http://www.prefecturedepolice.interieur.gouv.fr/Nous-connaitre/Services-et-missions/>

[Service-de-la-memoire-et-des-affaires-culturelles/Les-archives-de-la-prefecture-de-police#ancr-1](http://www.prefecturedepolice.interieur.gouv.fr/Nous-connaitre/Services-et-missions/Service-de-la-memoire-et-des-affaires-culturelles/Les-archives-de-la-prefecture-de-police#ancr-1)

パリ市文書館 <http://www.paris.fr/politiques/paris-d-hier-a-aujourd-hui/archives-de-paris/p149>

国立図書館 <http://www.offi.fr/a-travers-paris/bibliotheque-nationale-de-france-site-francois-mitterrand-1553.html>

パリ歴史図書館 <http://equipement.paris.fr/bibliotheque-historique-de-la-ville-de-paris-bhvp-16>

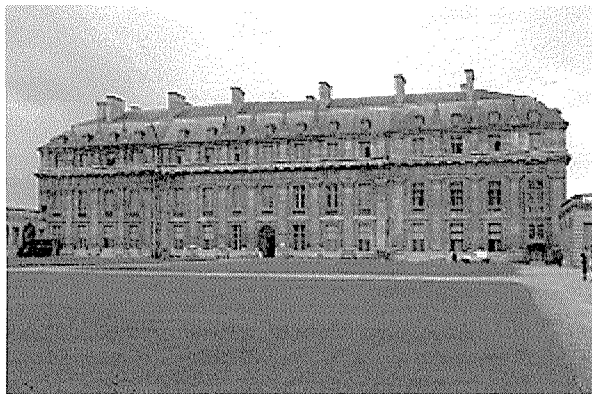
・パリ近郊

国立文書館サン＝ドニ分館 <https://www.archives-nationales.culture.gouv.fr/sia/web/guest/site-de-pierrefitte-sur-seine>

セーヌ＝エ＝マルヌ県文書館 http://www.seine-etmarne.fr/front/go.do?sid=archives_d_partementales_114069159266673984

III. 調査地・文書館建物などの写真データ

国防省文書館 Avenue de Paris, Vincennes



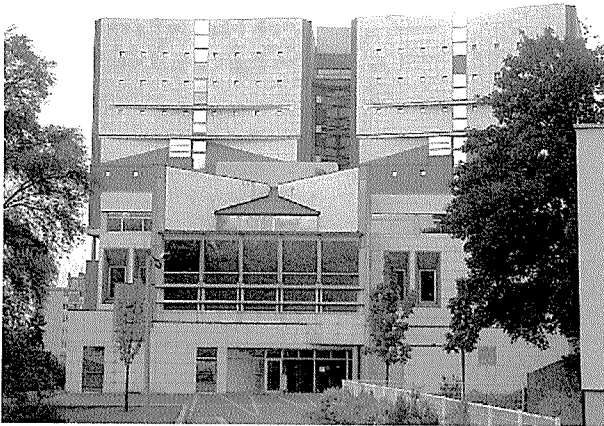
出典 http://www.rfgenealogie.com/var/rfge/storage/images/s-informer/agenda/manifestations/journee-du-genealogiste-le-26-juin-au-service-historique-de-la-defense/771410-3-fre-FR/journee-du-genealogiste-le-26-juin-au-service-historique-de-la-defense_illu-1.gif

パリ警視庁文書館 4, rue de la Montagne Sainte-Geneviève, Paris



出典 http://frenchhistory.files.wordpress.com/2014/08/20140827_085857.jpg?w=298&h=399

パリ市文書館 18, Boulevard Sérurier, Paris



出典 http://files1.structurae.de/files/photos/64/paris_19eme_arrondissement/dscf0794.jpg

国立図書館フランソワ・ミッテラン館 Quai François-Mauriac, Paris



出典 <http://www.insightguides.com/docs/images/lead/7f9d26d5-450a-4d3b-9f3f-9f4b4611ba50.France-Paris-%20Bibliotheque%20Nationale.jpg>

国立図書館アルスナル館 1, rue Sully, Paris



出典 <https://encrypted-tbn3.gstatic.com/images?q=tbn:ANd9GcQyasOWY9cPa3fRr4Cq79ViAIHbKM1q8Y1qsLKDGsUtzeQkFo5b>

パリ歴史図書館 24 Rue Pavée, Paris



出典 http://www.paristiti.com/files/articles/f457c545a9ded88_Bibliotheque_historique_de_la_ville_de_Paris_L.jpg

国立文書館サンドニ分館 59, rue Guynemer, Pierrefitte-sur-Seine



出典 https://encrypted-tbn2.gstatic.com/images?q=tbn:ANd9GcTvS_R7CHQjElmCCPyVCRhJCFX45RkSMKSeqZ9qIJLCWM4TUTRGXw

セーヌ-エマルヌ県文書館 248, avenue Charles Prieur, Dammarie-Lès-Lys

